

隨泉寺寺報

平成17年(2005年)6月号 第418号

082-892-0217 <http://tetunari@ms1.megaegg.ne.jp>

浄土真宗本願寺派 高峯山隨泉寺

前期門信徒講座

講師 明宝寺住職 藤井晃師

講題 「仏道を歩む」



『三河の教賢、伊勢の空賢とに対して、仰せに、南無といふは帰命、このころは御たすけ候へとたのむなり。この帰命のころやがて発願回向のころを感ずるなりと仰せられ候ふなり。』蓮如上人御一代記聞書

初参式

平成16年度に生まれられた子供さんの初参式を5月15日11時から開催いたしました。今年 初参式を受けてくださった皆さんは、1、河野美咲ちゃん(保護者、川野哲治 上平原) 2、小西温菜ちゃん(保護者、小西光男 望ヶ丘) 3、平原萌衣ちゃん(保護者、平原和幸 平原東)4、今岡心音ちゃん(保護者、今岡達也 桑原)5、山根萌ちゃん(保護者、山根一真 長者原西) 6、山口琴末ちゃん(保護者、山口裕子) 7、兼重詩哉ちゃん(保護者、兼重康雄 平原東)の7名です。仏の子供としてすすくと育て欲しいものです。

6月の法座予定

- 6月10日.....掃除 荒野
- 6月14日昼席午後1時より.....門信徒講座
- 6月14日夜席午後7時半より.....出張法座 中須賀 河野氏宅
- 6月15日朝席午前10時より.....門信徒講座 門信徒会総会 おとき
- 6月15日昼席午後1時より.....門信徒講座 後打ち上げ
- 7月 1日午後6時より.....門信徒会本部役員会

隨泉寺開基400年記念法要

5月14日・15日に隨泉寺開基400年記念法要を無事勤めました。

14日は午後1時から献灯・献華・献供に引き続き、前住職の導師で《正信偈作法》のお勤めがありました。その後、記念式典で400年の意味を住職・前住職・門信徒会会長の挨拶があり、3時から帰敬式が執り行われました。今回は129名の方が受式して下さり、本堂の中は一杯でした。前日からどうやって座っていただくか、役員で検討していましたが、本番になったら、ご本山の意向で座布団も敷けず、大変厳粛な式でした。受式された方は長時間にわたり、緊張されて大変でしたが、とても荘厳な尊い式でした。足も痛かったでしょうが皆さんとても感激しておられ、私も大変嬉しいものでした。これからはお釈迦様の1字を貰われた仏弟子ですので、いつもほとけさまが側に居てくださることを拠りどころに、強く明るく生き抜いていただきたいものです。

5月15日は朝席は《大師影作法》というお勤めをいたしました。引き続き、永年隨泉寺のお世話を頂きました。隨泉寺責任役員 植木岩夫氏、総代 前門信徒会長 原敏雄氏、総代 故二野宮守氏、帳場・世話系椿谷通俊氏、同じく原文子氏の各氏に400年の法要を記念して感謝状を贈呈いたしました。11時から平成17年度の初参式を開催いたしました。午後からは長女弥名の導師で、親鸞聖人もお勤めになったであろうといわれる《礼賛》のお勤めをいたしました。とてもリズム感のある、素晴らしいお勤めだったと思います。その後、チベットから来られた【バイマーヤンジン】さんのお話と歌がありました。お話も判りやすくて貴重なものでした。歌もカゼで声が出ないといっておられましたが、素晴らしいものでした。



門信徒会総会

6月15日春の門信徒講座の朝席の後、門信徒会の総会を開催します。16年度の行事報告並びに決算報告、17年度の行事予定、予算等を審議していただきます。誘い合わせてご参加下さい。

御礼

永代経懇志	金 参拾萬円	土橋 一夫殿	故 土橋 陽一様	特別永代経志として
永代経懇志	金 拾萬円	佐々木良江殿	故 佐々木和仁様	特別永代経志として
永代経懇志	金 五萬円	森田 良子殿	故 森田 春三様	特別永代経志として

御礼

門信徒会へ	金 一封	土橋 一夫殿	故 土橋 陽一様	香典返しとして
	金 一封	佐々木良江殿	故 佐々木和仁様	香典返しとして
	金 一封	平原 正子殿	故 平原 ヒデ様	香典返しとして

6月

どんなに頑張ってもがんばろう
「朝のこない夜」はない どんなに
頑張っても、さじを役けることだ
けはすまい。



なにくそと自分に鞭をあててがんばろう、「朝のこない夜はない」

カレンダー-6月号 東井 義雄

2005年(平成17年)5月15日

チベットから嫁に来たバイマージンさん

松井 邦雄

縁あって日本へやってきたチベット女性、広中平祐さん(数学の世界でノーベル賞級の賞をとられた先生)・河村建夫さん(元・文部科学大臣)のお二人が推奨なさっている女性です。

地元のお寺(浄土真宗本願寺派・隨泉寺)の開基400年記念法要があり、バイマージンさんが講師として住職さんから招かれました。400年前といえば、豊臣秀吉が亡くなり7年後のころです。チベットも仏教のお国で人口の90%が仏教を信仰しております。

私はバイマージン(白馬央金)です。チベットは中国の一自治区ですが中国と言葉が違います。私が生まれたとき両親がつけてくれたチベットの名前はベマヤンジェン(蓮の花に乗った音楽の神様)です。チベットでは日本のように姓がありません。間に・をつけないでください。実家は放牧民です。

二つの家族で食事をします。兄弟姉妹が8人ですがチベットでは少ないほうです。結婚しても、みんな一緒に生活します。にぎやかですよ!(放牧と遊牧鉄線との違いは、住まいを移動するかしないかの違いです。)

チベットは4200米の高地にあり、(富士山は3776米)酸素が薄いです。沸点が85度cです。ご飯も一度では、「ほっちん」になりますので、二度炊きます。私の地区は、中国四川省の隣ですが四川省の首都成都(せいと)から、バスに乗って2日間かかります。道もがたがたでくたびれます。中国国内を移動するときは、ビザもパスポートも必要ありません。

私の両親は結婚に大反対でした。「おしんの映画を見たせいでしょうか?」日本で苦労すると思ったのでしょうか。私は四川省の中国国立音楽大学声楽科で西洋オペラを専攻して声楽家になりました。実母は小学校へ行かれず文盲で字が読めず、男便所へ入り恥を書き、子供だけは

大学へ行かせたいと思ったようです。みは幸せです。四夕省の音楽大学で講師をしていた方が安心だったので。結婚はご縁です。私の両親は6年間かかって許してくれました。私は待ちました。主人も待ってくれました。だから結婚できたのです。主人が私の両親(病氣入院中)を一度見舞いたいというのでチベットへつれてゆきました。私は、「疲れるから無理だと言ったのですが」四川省成都から、2日間バスの旅は大変です。実家へついたとき主人はぐったりでした。顔がむらさきです。高地に慣れていないので為心痛になったのです。病院に3日間入院しました。両親が杖をついて主人を見舞いに来てくれました。結婚して10年ようやく子供に恵まれました。今妊娠5ヶ月です。

一度大失敗をしました。おばあちゃんの88歳米寿のお祝いのときです。私はおばあちゃんに「貴女は生き仏です。」とほめたつもりでした。チベットでは、生き仏は生きている人への最高のほめ言葉です。でもおばあちゃんはむっつりでした。日本の文化は、仏はなくなって後であることを教えられました。

チベットではひとつの居間で、家族がみんなで話し合います。

日本では一人一人が小さな部屋に入り出てきません。私は昼間、定年退職をした主人のお父さんと話し合いたいのですが、お父さんは出てきません。外の窓からのぞきましたら、ソファで横になり眠っておられました。テレビはついてます。

私はもったいないと思い、お父さんの部屋に入り、テレビを消しました。「何をする。見てる。」と言ってしかられました。私が主人と初めて、主人の家に着いたときのことで。お母さんがいません。私が訪れると言うのに。お母さんは、お勤めだったのです。私は初めての訪問で緊張していました。チベットと日本の文化の違いはまだあります。主人の両親は私によくしてくださいます。日本に連れてきてくれた主人に心から感謝しております。

日本は天国です。電気がまあり・洗濯機あり・食器洗い機あり・風呂も一人で沸きます。私の働き者の見せ場がありません。「お母さんピーピーいっているのは何」お母さんは、「風呂が沸いたのよ」私は何をすればいいの。トイレで便器に座れば暖かい・・・

まもなく、子供が生まれます。おばあちゃんにとってはひ孫です。四世代でひとつ屋根の下に住める、私はわくわくしています。今日本では、親が子供を傷つけ、子供が親を殺しています。お金のために人を騙したりしています。チベットでは絶対にありません。家族はお互いに宝なのです。チベットでは羊を育てるのに、苦労しているのに日本では「子育て」に苦労しています。チベットでは学校は足りませんが、子供はのびのびと一人が大きくなります。

チベットは厳しいところですから、長生きできません。40代で亡くなる人も多いです。50代は年寄りです。腰が曲がります。

子供達は、親を大切にします。兄弟姉妹で両親を誰が面倒見るかで、もめることはまずありません。もともと大家族主義ですから誰が見ると言うこともないのです。縁あって日本人の主人と一緒にになりました。日本に骨を埋めます。チベットの両親には申し訳けないのですがこれは私の運命です。

皆さん幸せとは何でしょうか!家族がばらばらではいけません。

チベットでは教育が遅れております。皆さんのカンパや、私の本やCDの印税をすべて小学校の建設に当てております。今7校建設しました。1校が鉄筋で750万円くらいかかります。勿論先生も必要です。日本の皆さんのおかげです。心から感謝しています。